

総義歯製作7つのポイント

“健康美と機能の追求”

Toda Denture System

良い物を知る圏域の世代の高齢化が進む今、歯科技工士の数減少化、これから増増するであろうより良い義歯に対応する「患者様が満足する健康美と機能を両立する義歯」を製作する技術が今後一層求められているのではないですか。

歯科技工士にとって総義歯が難しく似む理由は根本的に生体ということと技術を歯科医師と連携するというのがポイントになると思います。口腔内の失われた空間を復元形成する技術が必要な総義歯製作は、患者様により良い義歯を提供するためにはその情報を正確な意思伝達が求められます。義物を作る時に構造基準を含む設計図が必要なら総義歯製作にもそれに準じる基礎設計が必要であるはずが製作する歯科技工士に設計が届けられていないのが現状ではないだろうか。模型に床外形線のみ書き込み“おまかせ”で依頼されていませんか？そこで歯科技工士として臨床において歯科医師と連携を上手くするための7つのポイントを理解することで「健康美と機能の追求」が可能になると思います。

患者様の生体意識、コミュニケーションと連携、総義歯の設計、個人トレー製作、模型設計・基礎床・咬合床製作、人工歯配列、歯肉形成、義歯完成までの数値化された体系的な技術を歯科技工士の立場から解説していきたいと思えます。

自己紹介

コミュニケーションと連携の大切さ

総義歯の設計とは

7つのポイント

1. 個人トレー
2. 基礎設計
3. 基礎床・咬合床
4. 咬合器選択・咬合器付着・人工歯選択
5. 人工歯配列
6. 歯肉形成
7. 重合・埋没・総義歯完成

2012年10月

歯科技工士 戸田 篤

歯科技工士 戸田 篤プロフィール

Dental Design Days

戸田 篤

302-102 茨城県守谷市松前台 8-12-1

Tel/Fax 0297-48-4041

Email days@fork.ocn.ne.jp

HP days-dental.com

- 1977年 愛歯技工専門学校卒業
- 1977年～1995年 河邊歯科医院勤務 (18年)
- 1995年～2005年 トダプレシヤスアート
- 2005年～現在 アンクルデザイン デイズ
- 2010年 Team Dayo 発足
- 2011年 日本歯科技工士会専任講師

河邊医院勤務 1995年～

Days Denture School 代表 2002年～

日本歯科技工士学会会員 2005年～

日本歯科技工士会会員(東京甲会本部) 2006年～

日本歯科技工士会認定講師 2011年～

日本歯科技工学会 発表 (2008年・2011年)

GCセミナーインストラクター 2007年～

松風セミナーインストラクター 2007年～

茂久田セミナーインストラクター 2007年～

他

月刊 歯科技工 連載中